

～SSH教科横断型授業～

化学Ⅱとコミュニケーション英語Ⅲの授業で連携し、化学の実験を英語で行い、実験レポートも英語で作成しました。

2年生の時は「中和滴定」の実験に挑戦し、今回は「酸化還元滴定」の実験に挑戦しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため実験ができず、約5か月ぶりの実験となりましたが、多くのグループが納得のいく結果を導くことができました。

～コミュ英Ⅲのハンドアウト～

～Redox titration～

★Chemical Terms★

1- redox	()
2- aqueous	()
3- rinse	()
4- dilute	()
5- meniscus	() ・ 半月板
6- titration	()
7- outlier	()
8- molarity	()
9- mass concentration	()
10- solution	()

★Experimental tools★

1- conical beaker	()
2- burette	()
3- pipette	()

化学&コミュ英教科横断型実験 Part2

酸化還元滴定

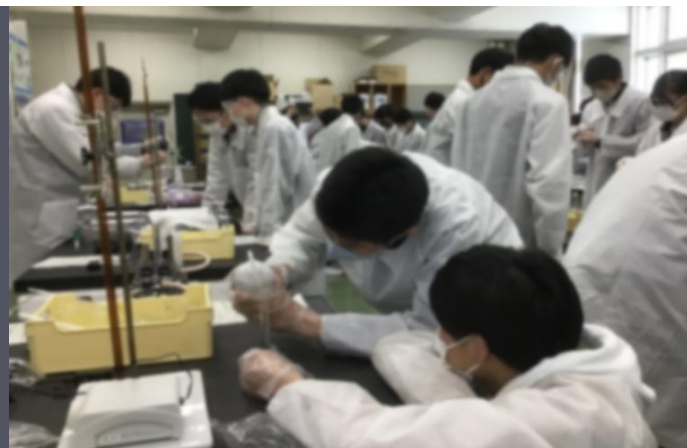
3年6組（医進類型クラス）

5月2日（月）、2校時のコミュ英Ⅲ、3校時の化学の時間で「酸化還元滴定」の実験に英語でチャレンジしました。



～実験中はAll in English～

化学教室内は「日本語禁止」です。化学教諭も英語を話します。実験の役割分担や作業指示、数値の記録なども、全て英語でやり取りします。コミュニケーション英語の授業で、実験に必要な英単語や表現などを事前に学んでいるので、多少のつたなさはありますが、実験は順調に進んでいきました。



～目指せ「薄い赤紫」～

久々の実験ということもあり、最初は期待通りの結果にならないグループもありましたが、回数を重ねるごとに試薬の分量を上手に調節し、正確な実験データを得ることが出来ました。



～今後に向けて～

英語を用いるというハードルをクリアし、実験を通して、酸化還元滴定に対する理解が一層深まりました。また、実験でしか得られない貴重な経験ができ、化学に対する興味関心も高まったようです。今後もいろいろなテーマで横断型授業に取り組んでいきたいと思っています。

